

薬事委員会記録

日時：平成 30 年 9 月 6 日(木) 15 時 00 分
場所：医学部 1 階 小会議室
出席者：鈴木、白木、川崎、諏訪、吉倉、池田、村瀬、田中、江頭、加藤(卓)、中島(美)、吉田(学)、北川、吉田(省)、馬場、鶴川、酒々井、塚田、佐野、山口、安田(浩)、小森、小林
代理出席者：竹中〔産科婦人科〕、棚橋〔放射線部〕
委任状提出：西堀、加藤(博)、白上
欠席者：山口(和)、川瀬、堀、加納、田辺、中島(教)、紀ノ定、荒木、堀川、大野、二村、笹井、長瀬、名和

記録の承認

平成 30 年 6 月 7 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

5 品目（ビダーザ注射用 100mg、ネスプ注射用 180 μ g プラシリンジ、エンシュア・H（バニラ味）、デュピクセント皮下注 300mg シリンジ、ネキシウム懸濁用顆粒分包 10mg）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

7 品目（シグマート注 2mg、シュアポスト錠 0.5mg、ゴナールエフ皮下注用 75、ピノルビン注射用 30mg、ナルベイン注 2mg・同 20mg、トリビック）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

7 品目（アルプロスタジル注 5 μ g 「武田テバ」、パルモディア錠 0.1mg、献血ヴェノグロブリン IH10%静注 5g/50mL・同 20g/200mL、シベクトロ点滴静注用 200mg、ゾフルーザ錠 10mg・同 20mg）について、申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果、全て承認された。

4. 医薬品の製剤変更について

クレメジン速崩錠 500mg について、申請診療科および薬剤部より説明され、製剤変更の承認可否の投票を実施した結果、承認された。既採用のクレメジン細粒分包 2g については、院外のみ処方を継続することとした。なお、アズノールうがい液についての製剤変更申請があったが、切替の必要性について再度検討することとした。

5. 医薬品の採用中止について

7 品目（ベサノイドカプセル 10mg、ベトプティック点眼液 0.5%、献血ヴェノグロブリン IH5% 静注 5g/100mL、献血ポリグロビン N10%静注 5g/50mL、コントミン筋注 10mg、シンビット静注用 50mg、スミフェロン注バイアル 300 万 IU）の採用中止を承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

21 品目（アイセントレス錠 600mg、イロクテイト静注用 2000 国際単位・同 3000 国際単位、オルケディア錠 1mg・同 2mg、アトーゼット配合錠 HD・同 LD、ジャディアンス錠 25mg、パルモディア錠 0.1mg、アジレクト錠 1mg、モディオダール錠 100mg、ヒュミラ皮下注 40mg ペン 0.4mL・同 80mg ペン 0.8mL、エンブレル皮下注 25mg ペン 0.5mL、アレサガテープ 4mg、ドボベットゲル、イクスタンジ錠 40mg・同 80mg、ラパリムスゲル 0.2%、ヒューマログ注

ミリオペン HD、ネキシウム懸濁用顆粒分包 20mg) の院外採用を報告した。

②医薬品の院外採用中止について

12 品目 (ヒューマリン R 注カート 300 単位、バイエッタ皮下注 5μg ペン 300、オングリザ錠 2.5mg、ノービア錠 100mg、レイアタツカプセル 150mg、イクスタンジカプセル 40mg、ガスター散 10%、アレジオン錠 20mg、セレスタミン配合錠、メバロチン錠 10mg、リピトール錠 10mg、ノボエイト静注用 2000) の院外採用中止を報告した。

③緊急購入医薬品の登録について

18 品目 (プレバイミス錠 240mg・同点滴静注 240mg、アディノベイト静注用キット 250 単位・同 500 単位・同 1000 単位・同 2000 単位、イミフィンジ点滴静注 120mg・同 500mg、テセントリク点滴静注 1200mg、パルモディア錠 0.1mg、エスカゾール錠 200mg、プレドニン眼軟膏、オクソラレンローション 0.3%、タルグレチンカプセル 75mg、トレムフィア皮下注 100mg シリンジ、トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg、プロイメンド点滴静注用 150mg、インフリキシマブ BS 点滴静注用 100mg「日医工」) の緊急購入の登録を報告した。

2. 医薬品の銘柄変更について

レバミピド錠 100mg「オーツカ」への銘柄変更を報告した。

3. 医薬品の剤形変更について

イクスタンジ錠 40mg およびプレセデックス静注液 200μg/50mL シリンジ「ファイザー」への剤形変更を報告した。

4. 医薬品の販売中止について

パーキン糖衣錠 50mg の販売中止を報告した。

5. 医薬品の販売中止に伴う製剤変更について

ヒーロン眼粘弾剤 1%シリンジ 0.85mL への製剤変更を報告した。

後発品への切り替えについて

医薬品購入額削減と診療報酬額増加を目的として、後発品への更なる切り替えを進めることを説明し、16 品目の後発品への切り替えを報告した。

その他

1. 医薬品の安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況について

平成 30 年 7 月に医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価を実施した。西 7 階で C 評価の項目があったが、現在対応を進めているとの報告があった。

2. 医薬品の副作用報告体制について

鶴川委員より、院内外で発生した医薬品の副作用を適切に収集する必要があることから、報告体制について検討を行うべきであると提案があった。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 30 年 12 月 6 日(木)とした。